

埼玉印エだより

第107号 平成20(2008)年6月30日発行

発行：埼玉県印刷工業組合広報委員会 ㊚360-0031 熊谷市末広1-63 TEL 048(524)4186 FAX 048(524)7680

URL <http://www.saipia.net>

E-mail saiinkou@orion.ocn.ne.jp



秩父ミュージックパーク付近より武甲山を望む

印刷：株式会社 石川印刷（秩父支部）

〔用紙提供：埼玉会〕

平成20年度 埼玉印刷工業組合通常総会開催

5月23日 さいたま市道山閣で

当埼印工組平成20年度の通常総会が、5月23日(金)さいたま市大宮区の道山閣で開催された。

今回の企画として、総会に先だって今問題になっている地球温暖化や環境問題、安全管理にかかわる諸法律規制についての講演が行われた。午後3時～4時10分まで講演が2題、そのあと総会(1時間)、そして組合員と関連業各社営業担当の方との懇親会(2時間)の設定であった。

〔1〕講演2題

「王子製紙(株)の環境への取り組み」

「印刷業界を取り巻く法規制について」

まず講演(1)は「王子製紙(株)の環境への取り組み」というテーマで、王子製紙(株)洋紙技術部マネージャーの北山力生さんが話された。「紙は木材と古紙をベースとする循環型素材」であり、地球温暖化に対しても十分対応できる試みであるとの視点に立つ。その上で、木材パルプを原料とする紙生産の工程が資料(映像)を利用して説明された。また古紙として回収されることによって何度でも再生される循環型素材であることが強調された。その生産工程でのCO₂削減への対応策も語られた。

もう1題は「印刷業界を取り巻く法規制について」で、講師は富士フィルム(株)グラフィックシステム事業部商品技術戦略グループ大貫良子さんであった。企業の社会的責任という点からも、印刷業界でも環境問題への対応が日々迫られている。(1)環境安全、(2)作業者の健康・安全管理、(3)安全管理(取り扱い・貯蔵・化学物質管理)等が今後一層重視されてくる。土壌汚染、大気汚染、有害物質の混入等、自社の業務の結果でなくても部品の一部に混入されているだけで罰せられるというのがこれからの法律解釈、今から十分学習、体験してもらいたいと講師は強調した。我々もまだまだ学ばねばならぬことを思い知らされた。



富士フィルム(株) 大貫良子氏



王子製紙(株) 北山力生氏

引き続き、3号議案「役員選出」が提案され、新しい三役が決定した。

理事長 新井正敏(旧副理事長、アサヒ印刷(株))
副理事長 佐藤伍郎(旧副理事長、六三四堂印刷(株))
副理事長 岩渕 均(旧副理事長、関東図書(株))
副理事長兼専務理事 櫻井豊喜(旧専務理事、(株)櫻井印刷所)
副理事長 大谷純一(新任、(有)三共社印刷所)
副理事長 渋谷理俊(新任、(株)秀飯舎)

7委員会名簿は別頁、通常総会議案書を参照下さい。

第4号議案 平成20年度事業計画(案)

第5号議案 平成20年度収支予算(案)

以上2議案が一括提案された。予算の収入面では組合員数減による賦課金減、支出では事務局員減での雑給費の減等苦しい一面も見られるが、この二案を承認可決した。第6号議案も可決、第7号議案は審議事項なく、全議案は終了した。その他報告事項として中央会印刷物受注状況、平成19年10月の組合創立50周年記念事業の2件について総会の席で報告を受けたとした。

最後に今総会で退任となった新精一さん、二重作明さん、吉田健さん3名に、新井新理事長から感謝状とささやかな記念品が渡された。会場からは万雷の拍手が長く響いた。佐藤副理事長が閉会の辞を述べ、ここに総会は滞りなく終了した。



大宮支部小倉理事が議長を務める



来賓
埼玉県中小企業団体中央会
松本氏



関連企業代表
溝口用紙(株) 溝口氏

〔2〕総会

10分休憩後、眼目の通常総会となった。櫻井専務理事が司会を務め、開会の言葉(二重作副理事長)、印刷産業人綱領斉唱(吉田副理事長先導)、理事長あいさつ(新理事長)と続き、「地元支部から」の恒例で小倉編集工房小倉新一氏が推薦されて以下議事を進行した。

第1号議案 平成19年度事業報告承認の件

第2号議案 平成19年度収支決算承認の件(事務局より報告) 監査報告(会計監査役が報告)

以上の案件が一括報告提案され、会場に意見の開陳が求められた。意見はなく、議長が2議案の承認を求め、拍手をもって承認された。

〔3〕懇親会

緊張した総会の席を立って隣りの一段と広い室に移り、寛いだ懇親の席となる。組合員33名、来賓、関連業、報道関係37名が10卓を囲んだ。新井理事長が総会の席とはまた違った語り口で組合員、関連業に語りかけ、今後の重責を担っていく決意を語った。親しみのある一瞬であった。新前理事長の卓越した指導力を讃えた。応えてその新さんもしんみりと自身の路をふり返り、「乾杯」を唱じた。ビールや酒がテーブルを回った。上尾・高橋印刷さんが中締めを、渋谷副理事長が、これから組合三役として臨む自身の役割についてきちんと語って閉会の辞とした。

埼玉印刷工業組合 理事長 新井 正 敏

埼玉県印刷工業組合

理事長 新井 正 敏

平素は組合活動にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私はこのたび、役員改選により理事長に就任いたしました新井でございます。前理事長同様にご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

埼玉印組は昨年50周年事業を、無事盛大に相済ませましたこと、皆々様に感謝申し上げます。50年の歴史を区切りとして、また新たな一歩を踏み出したところであります。

今、印刷業界も大きく変化してきております。環境の激変の中、社会に必要とされる産業としてどうなすべきかが業界全体のテーマであると思います。私は業界内の厳しい諸条件を一つ一つ克服し、夢と希望の持てる産業になるよう努力をしていく所存であります。

魅力ある組合活動とは、組合員企業との信頼関係に基づくものであり、そのために勉強会を中心に3つのテーマで活動してまいります。

一つは、組合員の学びの場、参加の場として

二つ目は、後継者の育成の場として

三つ目は、関連企業の参加の場として

この三位一体、三方よきの精神を持って活動していきたいと考えます。全印工連の動向、方針を踏まえ、また他県の印刷組合との連携をはかり、埼玉印組にフィードバックしてまいります。今後は下記の目標を掲げ、組合発展、また組合員企業の発展のためがんばりますので皆様のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

埼玉印組は目指します

活字文化の担い手として50年の歴史を継承

情報コンテンツ産業への変革

埼玉の印刷ブランド力をつける

Pマーク取得の支援

We Love SAITAMA. We Love PRINTING.

副理事長就任挨拶

大谷 純 一

この度、新任で副理事長並びに教育労務委員長を仰せつかりました。大変厳しい時代ではありますが、県工組各企業のますますの発展を願って、微力ながら頑張りたいと思います。ご指導・ご協力の程、宜しくお願い致します。

副理事長就任挨拶

渋谷 理 俊

新井新理事長は、新(あたらし)から新井(あたらしい)理事長と自己紹介されていて、ユーモアある人だなあと感じました。

私も名前は理俊(まさとし)。正敏(まさとし)繋がりで先輩を見習い、厳しくとも楽しく、参加して良かったと言われる組合活動を目指したいと思います。宜しくお願いします。



前理事長へ感謝状と記念品を贈呈



新役員 渋谷、櫻井、佐藤、大谷各副理事長



新井新理事長あいさつ



新理事長あいさつ



退任される二重作副理事長、新理事長、新井新理事長、退任の吉田副理事長

平成20・21年度組合役員一覧

三 役

理 事 長	新井 正敏		
副理事長	佐藤 伍郎	岩 渕 均	
	櫻井 豊喜	大谷 純一	
	渋谷 理俊		
専務理事	櫻井 豊喜 (兼務)		
監 査 役	古瀬 和正	椎橋 俊夫	

委 員 会 名 簿

経営革新・マーケティング委員会

- ◎渋谷 理俊 宮岡 僕子
- 堀川 真治 高橋 徹

共済事業委員会

- ◎岩渕 均 野中 光弘 井坂 功
- 奥 信吾 新 道行

教育・労務委員会

- ◎大谷 純一 関口 裕治 伊古田 俊
- 市川 博也 大塚 正晴

環境委員会

- ◎櫻井 豊喜 沖田 正己 恵 勇人
- 井ヶ田公幸 西野 和昌

組織委員会

- ◎佐藤 伍郎 市川 健治 古内 司朗
- 井坂 亨 飯田 勇

広報委員会

- ◎櫻井 豊喜 飯田 一義 大川 正行
- 小倉 新一 北野元一郎 大谷 純一
- 高橋小佐治

官公需対策特別委員会

- ◎岩渕 均 佐藤 伍郎 渋谷 理俊
- 石川 治 櫻井 豊喜 大谷 純一

青 年 部
井坂 功

◎委員長 ○副委員長



退任のごあいさつ

前理事長 新 精一

印刷業は天職です。「愛とロマンと印刷業」という信条でやってきました。愛とは、人も物も心より慈しむ心、そしてロマンは人生大きな夢をもって生きる。この信条は今も大事にしています。

組合員及び関連商社の皆様のご指導、ご協力をいただき副理事長7期14年、理事長3期6年、都合20年間埼印工組執行部を無事務めることが出来ました、心より感謝申し上げます。この間大きな事としては、組合員の減少問題には悩みました。業界あげての構造改善から業態変革を余儀なくされ、大きな変化をなすにつれてきました。次に理事長時代には安全衛生を目的に「たんぼぼ計画」を3年間でやりました。更に平成19年10月19日、埼印工組創立50周年事業を盛大に催すことが出来ました。一部記念講演では、大日本スクリーン石田会長及び全印工連浅野会長両氏の素晴らしい講演をいただき、二部では優良従業員及び役員等の表彰等充実した内容でした。三部懇親会では会員及び関連商社、来賓140名がなごやかで楽しいひとときを過ごせました。50周年記念誌も岩淵委員長始め、事務局深井、佐々木さんの協力をいただき、内容もしっかりした、読みやくて記録に残る記念誌に仕上げました。会員各社の「我が社の歴史」記事での協力、関連業等の広告協賛にも心より感謝する次第です。今後とも60年、70年、…100周年に向けて歩んでほしいと願っています。

今総会で新井正敏氏に次期の理事長職をバトンタッチしました。新しい執行部のもと、埼印工組が益々発展することを願い、退任のあいさつとします。ありがとうございました。



副理事長退任のご挨拶

(株)文化新聞社 吉田 健

この度の通常総会に於いて、一身上の都合により副理事長を退任いたしました。長い間、新理事長をはじめ役員の皆様、また事務局の方々にはいろいろとお世話になり感謝申し上げます。今後は一組合員となり組合活動に対しまして微力ながら協力して参りますので、よろしくお願ひ致します。

思えば古内理事長時代、共済委員会担当の副理事長から始まり、最終年度、経営革新・マーケティング委員会担当で終わりました。この間楽しい思い出、又大変考えさせられる問題等が多々ありました。

今現在、我々印刷業界を取り巻く環境は、過去にない厳しい状況に置かれていると思います。原油の値上がりに始まり諸物価が相次いで上昇し、ついに我々業界の重要な原資である用紙が、去年の秋の値上げに次いで本年6月より15%以上の値上げとなりました。我々全印工の役員も値上げに対抗するために組織が全力で戦ってまいりました。しかし、お客様はこの用紙の値上げについて、気持の上では判っていても現実には認めてくれないのが現状です。我々を取り巻く環境は非常にきびしいです。この時こそ我々埼玉県印刷工業組合では、役員を始め組合員が全員手を取り合って立ち向かっていかなければならないと思います。業界の未来に明るい光が差すことを願って、また埼玉県印刷工業組合の更なる発展を願って退任のご挨拶と致します。

豊かな新世紀を拓く！

— 新しい時代の『企業づくり』の
アドバイザー —

- 印刷関連機器・材料販売
- Macintosh・Windows出力・教育・保守サービス
- ITビジネス支援事業



設楽印刷機材株式会社

Human Balance
SHITARA

本社 〒379-2154 前橋市野中町158-1 TEL027(261)7000(代) FAX027(261)7700
宇都宮営業所 〒320-0843 宇都宮市花園町17-1 TEL028(633)8324(代) FAX028(635)8385
埼玉営業所 〒360-0012 熊谷市上之540-15 TEL048(521)9851(代) FAX048(527)0562

青年部だより

平成20年度青年部会通常総会開催される

6月5日(木) マロウドイン熊谷にて

去る6月5日、青年部会通常総会が埼玉県印刷工業組合新井理事長ご出席のもと、マロウドイン熊谷において開催されました。

事業報告、決算報告、監査報告、新役員組織体制、事業計画、収支予算と、慎重審議の結果、全て承認可決されました。また、本年度は2年任期の改選期であり、井坂会員が新会長に承認され、高橋会員から会長職が引き継がれました。

新役員の顔ぶれは以下の通りです。

会長	井坂 功
副会長	大川 正行 恵 勇人
会計	馬場 直輝 海野 了一
幹事	新 道行 今津 聖之助 馬場 高成 島田 高敏 見澤 茂
監事	二重作 和久 高橋 徹
直前会長	高橋 徹

総会終了後、懇親会となりました。

先ほどの総会で就任となった井坂会長をはじめとする新役員から自己紹介(一芸披露)があり、これから2年間、「研修」と「親睦」を軸に、皆で協力し新たな「伝統」と「伝説」を作っていこうと約束しました。



来賓新井理事長、熱のこもったあいさつ



井坂新会長のあいさつ



新幹事の開会あいさつ



議長の高橋会長



監査報告、二重作監事



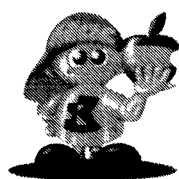
大谷「副理事長」による乾杯



市川元会長による中締め

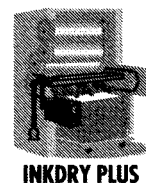


新役員披露 新井理事長と共に



印刷機材の総合商社

KINSEISHA
CO., LTD. 株式会社錦精社



【機器販売】

アダストミナント印刷機械総販売元
INKDRY PLUS (IR乾燥装置)

印刷機・DTP関連機器
製版・断裁・製本機械
印刷用資材(PS版・インキ・薬品・その他)

さいたま支店

◇ JR京浜東北線北浦和駅下車 徒歩15分
◇ 〒 336-0072 さいたま市浦和区領家5-12-16
◇ TEL 048-886-8781 FAX 048-886-8855

全青協に参加

全国青年印刷人協議会の第21回全国協議会が、2月23日、大阪市立阿倍野区民センターにて開催されました。13時に開会、議長の挨拶に始まり、06-07年度の総括、第1回メディアユニバーサルデザイン(MUD)の活動報告等が行われました。

活動報告終了後、北東工業株式会社代表取締役社長東条秀樹氏による基調講演が行われ、「作り手の移動」というテーマでした。北東工業さんは、「プリントビズ」というインターネットで印刷物を受注するサイトを運営されており、その運営方法等の講演を拝聴したわけです。

続いて(株)会社ハーマン・インターナショナル・ジャパン 取締役 平田幸一氏)による「組織改革は適材適所から」というテーマで講演が行われま

した。このテーマの講演目的で、事前に「性格診断テスト」を行い、会場でタイプ別の分析を発表・説明を行うというもので、なかなか面白い講演となりました。

講演の後は、06-07年度全青協アワードが発表され、グランプリに「静岡県」が選ばれました。我が埼玉も、頑張らねばならないようです。

最後に、新議長・新副議長が紹介されて、全青協全国協議会は閉会となりました。

続いて、懇親会会場は「千日前 味園」へと場所を移して行われました。かなりボリュームのある、豪華な料理が用意されていたのには驚きました。懇親会は和やかなムードの中、各都道府県の方々と名刺の交換、挨拶等も行い、交流を深められました。その後は市内で一泊し、翌日、無事帰宅することができました。



北東工業株式会社
東条秀樹氏



(株)ハーマン・
インターナショナル・ジャパン
平田幸一氏



表彰



胴上げ

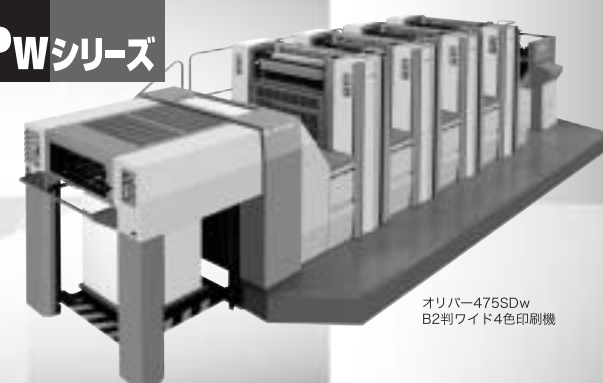


懇親会

B2判
OLIVER 75SDW/SDPWシリーズ

お仕事の幅を広げます!! **B2判ワイド**

高品位、高精細印刷とともに
最大印刷サイズ 785×560mmを実現



オリバー475SDw
B2判ワイド4色印刷機

最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します。

Sakurai
株式会社 桜井クラフトシステムズ
<http://www.sakurai-eps.co.jp>

本社
〒135-0032 東京都江東区船住2-2-9
TEL.(03) 3643-1131(代) FAX.(03) 3643-1138

名古屋営業所
〒451-0084 名古屋市西区上郷緑町2-9-1
TEL.(052) 524-5541(代) FAX.(052) 524-5545

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06) 6308-6651(代) FAX.(06) 6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡県中央区天神5-5-8
TEL.(092) 741-2672(代) FAX.(092) 741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 33-1260(代) FAX.(0575) 33-3146

ISO 9001・14001認証取得
品質保証体制

バックカーボン・ナンバーリング印刷

カッターマシン・伝票丁合
セパレートワックス・減感加工

信頼と技術、ガッツなパートナー

株式会社 深谷カーボン


代表取締役 深町 要一

ホームページ <http://www.ksky.ne.jp/~youichi/>

電話 (048) 520-1649

FAX (048) 520-1410

埼玉県熊谷市上川上952-5



関東五県印友会開催さる

6月7日(金)、平成20年度の関東五県印友会が、群馬県安中市において群馬県工組の主管により開催され、当工組から新井理事長、佐藤、櫻井、大谷、渋谷各副理事長、並びに事務局が出席した。

午前12時に受付を済ませ最初の行事である見学会は近代日本の礎であり、現在世界遺産登録申請中の富岡製糸場(国指定史跡・重要文化財)を見学した。その後、ホテルに会議場を移し、吉田群馬県工組理事長の司会で会議が進められた。最初に印友会横山会長(茨城県工組理事長)が「印刷業界は現在7兆円規模を持っているが7.5兆円を目指し業界が結束しなければならない」と連携強化を訴えた。つづいて、来賓として関東五県厚生年金基金の小口理事長から基金の運営状況を含めて挨拶があった。

討議は群馬県工組の吉田理事長が議長に就任して議事に入った。

議題は、「①各県工組・新年度組合運営の取り組みについて、②出席者による意見討議と今後の印友会について」の二点で、議題1については、各県工組の理事長から各々取り組みについての発表がなされた。議題2については出席者全員が発言するなど議論と情報交換が活発に行わ

れ、議長の「活発な意見交換が為され、有意義な会議になった。本会の運営方法などについて本日の会議で言い足りなかった方もいると思いますので、ご意見を添付の指定用紙で当県までお寄せください。纏めた上で皆さんにお知らせしたい。」との総括で議事が終了した。

次に会長選出に移り、現会長の茨城県工組横山理事長から吉田群馬県工組理事長にとの推薦がなされ全員一致で賛成、群馬県工組吉田理事長が応諾して次期会長に決定、就任した。退任された横山前会長には感謝状と記念品が贈られた。最後に来年度の主管県である栃木県工組の矢島理事長が歓迎の挨拶をして会議が終了した。

続いて懇親会が開かれ、お互いの労をねぎらうとともに、再会を約してお開きとなった。



機材部 Total Supply for Print 写真製版機材・インキから 印刷機まで全ておまかせ	写真製版部 Assisfance for More Comfort 一步リードした製版システム技術 未来型印刷産業をクリエイト
グラフィックアーツシステム部 Consultation for Progress プロフェッショナルなDTP・プリプレス Macintoshからハイウインドシステムまで 業務にあったシステム、設計から運用まで、トータルでサポート 自費出版・カタログ・社内報・会社案内・チラシなどの制作をお手伝いします。	
株式会社 堀口プロセス機材	
本社 群馬県渋川市1783	営業本部・写真製版部 北群馬群吉岡町大字小倉字北田461-3 TEL (0279)23-1319 (0279)54-7575 FAX (0279)54-3553
	長野事務所 長野市大字葉田16 伊藤ビル1F TEL (0262)28-1502 FAX (0262)28-3735

=経済的で使いやすいレンタルウエス=
 ラフト資材株式会社
 代表取締役 小野義樹
 E-Mail:fwhd2901@mb.infoweb.ne.jp
 URL:http://www.raft-inc.ne.jp

本社/営業部：〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 4-14-35
 tel:03-3965-7231 fax:03-3967-8795
 美里工場：〒367-0102 埼玉県児玉郡美里町関 280-1
 (iso14001 認証取得) tel:0495-76-1315 fax:0495-76-2742






「印刷」が、もっと、地球のためにできること。

“人類社会”に最も貢献した発明の一つと言われる「印刷」が、“地球環境維持に最も貢献した産業”になれるように。FFGSは宣言します。富士フィルムグループの一員として、印刷の、そして地球の未来を見据えた、スケールの大きな環境対策に、広く深く真向から取り組み続けることを。

FFGSの主な環境対応製品および関連事業

サーマル無処理CTPプレート ■ECO&FREE SYSTEM (ET-S)
 環境対応印刷関連薬品 ■ECOLI-CHEMICALシリーズ
 液交換不要型 湿し水ろ過装置 ■ECOLI-KIREI 100
 ■UV関連新事業 Radiset, inca SP320など

富士フィルム グラフィックシステムズ株式会社 ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>
 本社 〒101-8452 東京都千代田区神田錦町3丁目13番地 竹橋安田ビル TEL.03 (5259) 2300



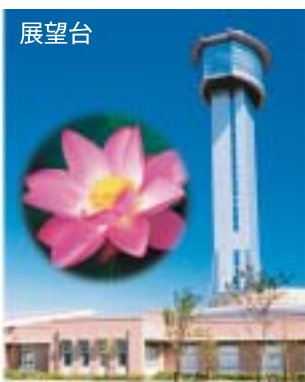
さきたま古墳群 5世紀末から7世紀初めに造られたとされる日本最大の円墳「丸墓山古墳」や、県内最大の前方後円墳「二子山古墳」などを中心に11基の大型古墳が群集しており、東日本最大の規模を誇ります。特に「稲荷山古墳」からは1968年に鉄剣が出土し、10年後に金の銘文が発見されると日本中に一大古代史ブームを巻き起こしました。国宝に指定された「金錯銘鉄剣」は古墳群内にある県立さきたま史跡の博物館に常設展示されています。



また、「さきたま風土記の丘」として公園整備されておりますので、お弁当・水筒持参の散歩気分でお越し下さるのもいいでしょう。古墳めぐり、博物館めぐり、埴輪づくり(はにわの館)などでできっと歴史ロマンを感じて頂けます。

そして今、このさきたま古墳群を「古代東アジア古墳文化の終着点」と位置づけ、世界遺産登録を目指し、世界へ情報発信しようと市民運動が広がり始め、賑わいをみせております。「サポーターの会」(入会金1000円)への登録等、世界遺産登録への応援もよろしくお願い致します。

古代蓮の里公園 6月中旬から8月初旬にかけて、ここ行田で永い眠りから目を覚ました行田蓮を始めとして41種類約10万株の花蓮を見ることができます。それは見事なものなのですが、お昼までには花を閉じてしまいますので、見頃は朝です。まさにこれからシーズン真っ盛りで、早朝に花開く蓮を一目見ようと連日各地から大勢の見物客が訪れます。ハイシーズンの休日には駐車場待ちの大渋滞が起こる程の混雑ですので、なるべく休日を避けることをお勧めします。



また、「さきたま風土記の丘」として公園整備されておりますので、お弁当・水筒持参の散歩気分でお越し下さるのもいいでしょう。古墳めぐり、博物館めぐり、埴輪づくり(はにわの館)などでできっと歴史ロマンを感じて頂けます。

平成13年には「古代蓮会館」が併設され、ジオラマ展示室やシアター解説などで蓮に関する事柄が解りやすく説明されています。

また、高さ50mの展望台に昇ると、360度の大パノラマが飛び込んできます。広大な関東平野に続く山々、遠く富士山やさいたま新都心、条件が良ければ新宿副都心も眺めることができます。

忍城址公園 行田は忍^{おし}という地名の城下町でした。天守閣のなかった忍城にとって中心的なのが「御三階櫓」で、昭和63年に再建され、行田市郷土博物館の展示室として行田の歴史を語り継いでいます。



室町時代の文明年間(15世紀後半)、成田下総守顕泰^{あきやす}によって築城された「忍城」は湿地帯を巧みに利用した城であったため、守りやすく攻めにくい関東きっての名城とうたわれました。豊臣秀吉が小田原の北条氏を攻めたてていた天正18年(1590)には、石田三成が忍城を包囲する堤を築き、利根川・荒川の水を引き入れ水攻めしましたが、落城しませんでした。その時の様子から、まるで城が浮いているように見え「浮き城」の別名が生まれました。

この「忍城」を中心に光成との攻防を描いた「のぼりの城」(和田竜/著)は、昨年来脚光を浴び、売れ行きが順調な伸びを示す通り、本当にわくわくするお勧めの一冊です。映画化の企画が進行中で、行田が更にヒートアップする日も間もなく来ると思われます。

フライ



一般的にフライというと揚げ物です。でも行田で“フライ”は、お好み焼き風の焼き物のことを言います。昭和初期に全盛期をむかえた足袋工場で働く女工さんのおやつとして大ヒットして、現在でも20軒以上の店が営業しています。それぞれのお店が微妙に異なるソースや醤油の味で皆さんのお越しをお待ちしています。ちなみに大体のフライ屋さんには美味しい“焼きそば”もありますよ。

一方、“ゼリーフライ”とは、衣の付いていないコロッケみたいなものです。ジャガイモや人参・ネギをおからと混ぜ合わせた揚げ物で、食物繊維が豊富なヘルシー食品です。小判の形をしているところから

“銭フライ”がなまってゼリーフライの名になったということです。行田にきたら是非「フライ・ゼリーフライ」をご試食ください。



ゼリーフライ

他にも「足袋の町の蔵めぐり」や田園風景の中をのんびり歩く「古寺めぐり」、利根川での「ウインドサーフィン」、北鴻巣駅～さきたま古墳群4.8kmの「さきたま緑道ウォーキング・サイクリング」など、いろいろな

フライ・ゼリーフライ

楽しみ方が満載の行田です。ちょっと時間ができたならスニーカーに履き替えて、是非とも一度お越し下さい。お待ちしております。



足袋



問い合わせ先

行田市商工観光課 ☎048-556-1111 (内線382)
行田市HP <http://www.city.gyoda.lg.jp>

現代はモノや情報があふれ消費者ニーズが多様化しています。そのため、具体的な販促ノウハウと付加価値情報をマーケティングに落とし込む戦略が重要となります。イマイは、これまでに培ってきた情報ネットワーク力とメディア戦略を駆使し、セールスプロモーションから媒体計画、クリエイティブまで、お客様の販促活動をトータルに支援いたします。

お客様の売上げに直結する広告プランを常にご提案いたします

キカク > カカク

www.imai.co.jp

総合広告代理店
株式会社 **イマイ**

〒331-0822 埼玉県さいたま市北区奈良町150-8
TEL.048(665)2181 FAX.048(666)7072

第24回埼玉県印刷営業士会総会開かる

埼玉県印刷営業士会第24回総会が6月14日(土)、マロウドイン熊谷で開催された。開会にあたり矢島会長は「本日は営業士会総会にご出席を賜り誠にありがとうございます。さて、この度私は会長を退任することになりました。今まで営業士会員の皆様方のご協力並びに埼玉県印刷工業組合のご指導ご鞭撻を頂きながら、3期6年間大過なく無事務めさせて頂きましたことは、皆様方のお陰と心より感謝申し上げます。本日の総会で第5代会長が選出されると思いますが、次期会長にも私に頂きましたご支援以上にご支援を頂けますようお願い申し上げます。」と退任のあいさつをした。規約により会長が議長となり、議事に入った。

第1号議案 平成19年度事業、決算報告承認の件が提案され、小幡監事から監査報告があった。続いて、第2号議案 役員選出、第3号議案 平成20年度事業計画案、予算案承認に関する件が提案され、拍手をもって承認された。新会長に選出された常任幹事の斉藤清氏が、会長就任のあいさつをした。

「今回、第5代会長という大役を仰せつかり不安と緊張をしている所です。歴代会長の名を汚すことなく務めるよう頑張りたいと思います。さて、今年は年明け早々年賀ハガキの古紙の配合偽装問題から始まり一般紙までもが、正規の基準に至っていないなど、お客様には大変迷惑をかけ、信頼をも失墜している所です。そんな中、今般用紙の値上げが昨年に引き続き実施された所です。印刷価格は低下し、用紙を始めとする材料費の上昇によってさらに収益が圧迫され、経済的に一層厳しくなると思われます。今回この値上げを製品売価に添加できない場合は倒産、廃業が急速に加速するものと思われます。又、昨年より県においては、電子入

札が行われています。入札業者は、昨年の落札業者と落札価格も把握しているので、価格破壊がより一層、電子入札によって拍車を掛けていると思います。ただただ安値争いの中に入るのではなく、しっかりと利益を確保し、社内ではミス、ロスをなくし、各社が生き残りを掛けて必死の努力と、より良い営業戦略でお互いに切磋琢磨して、各企業の発展に貢献していくことを願うところであります。」

引き続き来賓の埼玉県印刷工業組合理事長の新井正敏氏が祝辞を述べた。「私は先日埼玉県印刷工業組合総会で、新さんの後任として理事長になりました。新さん同様宜しくお願い致します。組合員、青年部、営業士会、関連企業と力を合わせてやっていきたいと思っております。営業士会は24年前に発足したわけですが、新さん、五十子さん、私と矢島さん、斉藤さんと引き継いで来たわけですが、矢島さん、本当にお疲れ様でした。『印刷』は素晴らしい産業です。自信と誇りを持って活動してほしいと思います。」

午後3時より、設楽印刷機材(株)代表取締役社長設楽誠一氏による「印刷環境とその変化について」の講演が行われた。総会参加の各自、熱心にきき入った。

埼玉県印刷営業士会役員

会長	斎藤 清
副会長	大谷 純一
常任幹事	五十子 寿彦
〃	原田 豊久
〃	鬼形 久
会計	北野 元一郎
監事	大塚 正晴
〃	小幡 好則

埼玉県印刷営業士会講演会

「印刷環境とその変化について」

設楽印刷機材(株) 代表取締役社長 設楽誠一氏

1. 日本の印刷産業と世界市場の現状

・日本と米国の印刷市場動向

平成18年度工業統計 印刷・同関連業の出荷額は、6兆7,800億円、出荷額は91年をピークに減少

事業所数、従業員数ともに減少傾向(特に2005年3.2万社~2006年1.62万社が激減)

日本の現状 国内マーケット オフセットが49%、グラビア38%、フレキソ9%、その他4%

中国の印刷業

97,391社の印刷会社・85,326社の複写および活版印刷会社・約3,402,200人が印刷産業に従事

2. 印刷技術の動向と産業構造の変化

・幅広い印刷需要に対応する特長ある特殊印刷への強調

優良企業100社にみる事業戦略の真髄と事業のあるべき姿

- ・付帯サービスによる拡印刷
- ・取扱い品目の多様化による拡大化
- ・特定領域で事業特化と事業の独立化
- ・異業種への事業展開(脱印刷事業)
- ・地域特化の優位性維持や特異性がビジネス起業

3. 今後の印刷産業について

- ・印刷産業のボーダレス化と対応
- 顧客の要望に応じて最適な印刷手段を提供する

4. 多様化する印刷産業と事業領域の拡大

- ・総合的なグラフィックビジネスへの転向
- 進展する印刷技術
- 新時代の印刷手法とその変化

5. 「ビジネスチャンスをわが手に」発想の転換

- ・3C...CHANGE・CHANCE・CHALLENGE

6. Drupa (ドルッパ) 2008の緊急報告

7. 煮え蛙

蛙は、浸かっていた水が急に熱湯に変われば飛び跳ねて逃げる。が、徐々に熱せられると逃げられなくなる。教訓、急な変化には対応できるが、ゆっくりの変化にはなかなか対応できず、気づいてからの対応では間に合わなくなる。



矢島会長あいさつ



斉藤新会長あいさつ



新井理事長あいさつ



講師 設楽誠一氏



熱心に講演を聴く会員



新旧会長と理事長で

第三者認証だから信頼できる

FSC 森林認証 好評発売中

名刺・はがき・封筒

「FSCマーク」は適切な森林管理のもとに生まれた木材が正しく加工・流通されていることを証明するマークです。認証なしには刷り込みできません。「FSCマーク」印刷済の当製品をご利用下さい。

山櫻は、FSC森林認証紙製品における売上金額の1%をWWF(世界自然保護基金)に寄付いたします

山櫻 

CU-COC-805541
© 1996 Forest Stewardship Council A.C.

FSCの認証製品をご購入いただくことは、世界の森林の責任ある管理推進に役立ちます。

株式会社 山櫻 大宮支店 〒331-0814 さいたま市北区東大成町2-516
http://www.yamazakura.co.jp TEL.048-663-1982 FAX.048-663-3510

よいものだけを...

ムトウユニパック

MUTOH UNIPACK Co.,LTD.
TOKYO

さいたま/埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-698-1 ☎048(647)6100 FAX048(644)4414
本社/東京都江東区永代1-7-12 ☎03(3642)1141 FAX03(3643)6654
URL:http://www.mutoh-u.co.jp

関東甲信越静地区印刷協議会 19年度下期例会開催される

去る3月5日(水)、東京・日本橋の大日本インキ化学工業(株)会議室において、19年度下期例会が長野工組の主管で開催された。

冒頭、あいさつに立った堀会長が「昨年の中越地震被災に際し多くのご支援を頂きましたことについて、柏崎支部より皆様に感謝とお礼を申し述べて欲しい旨の伝言がありましたのでお伝えするとともに、私からも改めてお礼を申し上げます。

全青協で立ち上げたユニバーサルデザイン(UD)の活動が広がりを見せ、頭にM(メディア)がつきMUDと略称され、印刷業界における社会貢献の一端として認知されてきているのではないかと。新潟県工組で開催した印刷文化展においても関心を集めた。また、全印工連でも活動目標として取り上げて支援するようであり、各県工組でもより関心を持って取り上げていただきたい。

官公需問題については、他県の活動事例などの情報交換が蜜になり、着実に進み始めており、最低制限価格制度導入に向けて更に活動を活性化させて欲しい。

諸資材の高騰で経営を圧迫されているが、主要資材である用紙、インキについては一時停滞しているが、偽装問題が決着すると値上げ攻勢が強まるのではないかと危惧される。

来年度は2008計画完結の年であり、結果を出している企業もあるが、業態変革は企業活動にあってはエンドレスの課題であり、示された手法を活用して生き残りを果たして欲しい。」と述べた。続いて審議議題が審議されたあと、全印工連官公需特別委員会の横山委員(茨城県工組理事長)から、委員会活動の現況が報告され「製造物請負制度への移行は着実に進んでいるが、その先の最低制限価格制度の導入については抵抗が強く、各県とも苦慮している。全印工連としては見積書に積算明細書添付の義務化を求めるなどの統一した要請文を作成して、各工組連名で県市町村に要請する事になっているので一斉に行動して欲しい。」と報告があった。

次に今回特別に来賓として出席された全印工連浅野会長から「10～20世紀において最も発展したのは、ゲーデンベルグが発明した印刷技術による印刷産業である。そのDNAを受け継いできたのが我々であり、印刷の持つ文化を次の世代に受け継がなければならない。何事においても自身が明確な意思を示さなければ何も始まらない。その上で目標や戦略戦術を従業員と共有して行動することが求められる。また、企業活動において利益が確保されなければ何も出来ないが、自社の利益を追い求め過ぎると、昨年来発生している社会的責任を逸脱した偽装問題に繋がってくるので、考えなければならない。利益には仲間と分かち合う利益や、社会に還元する公益があってもよいのでは。その意味で全青協が提唱するUDは評価でき、頼もしいと感じている。また、彼等から全国展開のために必要な受け皿の整備を求められているので、各県工組でも早急に検討、整備をお願いする。最後になるが、本年度限りで会長職を辞することになるが、在職中に多くのことを学ぶ機会に恵まれることに感謝申し上げます。」と挨拶された。

最後に全印工連経営革新・マーケティング委員会水上委員長から、欧米における印刷業の変革について事例を中心に講演が行われて、第1部の会議が終了した。

続いて理事長会・各分科会が行われた後、全体会議で討議内容が報告され、例会が終了した。



TRAQOL
ISO9001認証取得

一貫生産だからできる自信と信頼

株式会社 永井機械製作所

〒332-0031 埼玉県川口市青木4-3-11
TEL 048-251-0901 FAX 048-255-4674

URL <http://www.nagaikikai.co.jp> E-mail sales@nagaikikai.co.jp

TFTカラーディスプレイコンピュータ断裁機
NCW-D7シリーズ(160.137.116.102)



報告要旨

理事長会

平成19年度決算見込みの承認
役員改選についての情報交換(機関決定後公表)

経営革新・マーケティング委員会

1. 平成19年10月の用紙価格調査集計結果については、回答率が24%と低く、信頼度が問題。次回調査では回収促進をお願いします。

教育・労務委員会

1. 労働関係法令改正への対応について
 - ①労働契約法の施行について
平成20年3月1日施行
 - ②最低賃金法の一部改正案の成立について
(埼玉県702円/時給)
 - ③改正パートタイム労働法の施行について
平成20年4月1日施行

環境委員会

1. 再生紙古紙配合率問題について
配合率で刷り直しなど、損害が発生した時は紙商を通じて製紙メーカーが誠意を持って対応することになっている。

組織委員会

1. 組合員数が2008年1月現在6,928社まで激減している。
2. MUD(メディアユニバーサルデザイン)については神奈川県工組で50周年記念事業として取り上げる予定

共済事業委員会

1. 各種共済事業の運営状況について

●●● 支部だより ●●●

熊谷支部通常総会開催

去る、5月17日(土)午後6時よりささや食堂において、埼玉県印刷工業組合熊谷支部通常総会が開催されました。当日は10名の会員が出席し、飯田支部長〔大同印刷(株)〕の開会の挨拶の後、議事に入りすべての議題が慎重に審議され、全会一致で承認されました。

そして、椎橋俊夫氏〔(株)博文社〕の閉会の挨拶で通常総会は終了致しました。尚、本年度役員は昨年度同様下記の通り承認されました。

支部長	飯田一義	副支部長	大塚正晴
役員	市川博也	役員	大川竹夫
役員	神山茂和	役員	椎橋俊夫
役員	関口裕治	役員	夏目義夫
会計	梶塚光男	監事	榊原英雄

その後、恒例の懇親会へと続きました。



大宮刷機会、日帰りバス旅行

深緑の自然に抱かれた箱根路へのキャッチフレーズで、お誘いした今回の刷機会日帰りバス旅行には、二十余名の参加がありました。毎日のことながら当会の行事は、90%天候に恵まれております。その「上天気」の4月20日(日)、一路箱根を目指して出発しました。

途中、渋滞にも遭わず車中も和気藹々で首都高=東名=御殿場、そして大涌谷では硫黄の匂う山肌を見物しながら、名物の黒い温泉卵を買う姿が見られました。

そこからロープウェイにて桃源台へ。芦ノ湖を海賊船に乗り元箱根へ。船上では湖上を渡る風も爽やかでした。

昼食は絹引のおそばに舌鼓、皆さん大満足の様子でした。食後には箱根新道=小田原に出て、かまぼこ作りを見学、買い物。

帰りは厚木道=東名道=首都高と予定の時刻に出発場所のソニックシティへ無事到着 皆さん一日お疲れさまでした。



大連視察紀行 (前号の続き)

理事長 新井 正敏

次は日本語DTPを行なっている2社の視察である。

1社目は「大連愛科」で、大手印刷会社の組版制作を行なっている。切抜き、DTP (ちらし、カタログ、パンフレット等)、CADが主な仕事となっている。現場を視察すると、オペレータが手際よく仕事を裁いている様子が伺えた。納期管理に関してもプロジェクトチーム内でうまく行なっているようである。それぞれチームにはリーダーがいて、進行管理ソフトを使っているのかと思いきや、アナログ手法での管理をしているようである。

日本との連絡はメール、FAXがメインとなり、データの受け渡しはFTPを主に使用しているようである。今のところ特に問題は無いとのこと。社員数は約120名ほどである。入居しているビルは日本の森ビルが建てたビルであった。



大連愛科の入居しているビルの外観 「愛科」社内作業風景

もう1社は当社にも仕事のアプローチのあった「TSS」という企業である。「TSS」の社長は日本のプロセス資材を退社した後、起業したそうである。日本と大連を往復し、日本の印刷会社から受注している。日本のK社は、大連へ50%、組版制作を移管しているという。日本のK社からも2人のオペレータを派遣していて、管理をしている。受注を依頼する日本の企業に登録している中国人を派遣し、数ヶ月の教育ののち中国に帰国し、「TSS」のオフィスでWEBカメラ等を用いて、あたかもその企業で働いているかのように作業をしている。毎日数回、WEBカメラ、Skypeを用いてミーティングを行い、進捗等もチェックしているという。

今後5年～10年と継続していく場合、行く行くは大連でも人件費高騰の問題も起きてくるだろう。その際はもっと中国の奥地も視野に入れているという。(内モンゴル等含)

2日目は大連のソフトウェアパーク内を見学した。管理しているのはDLSP (大連ソフトウェアパーク)。そこで元IBMの三上マネージャーに案内していただいた。現在の大連の様子、日本企業の思い等の説明を聞いた。ソフトウェアパークには6つの大学があり、ソフトウェア開発をメインにやっている理工系の大学が多い。現在は単純に大学を卒業してもあまり就職先はないらしく、そのため日本語を勉強し、少しでも給料のよい日系企業に就職を希望する学生が多くなってきている。

日本語教育もさかんに行なわれており、専門学校、大学等様々な学校で日本語を推奨している。毎年25,000人の学生が卒業しているのだが、大連市を含む遼寧省、吉林省、黒竜江省を東北3省と呼ぶのだが、東北地方だけ

で1億三千万人以上 (日本の総人口以上) の人口がいる。実際はもっといるとのこと。



全体の鳥瞰模型

次に元ライブドアCHINAの「EdgeSoft」という企業を見学した。ここはコールセンターBPO業務、WEBのシステム開発をメインにやっているところである。この企業の名刺は以前ライブドアが使っていた特殊サイズの名刺をそのまま踏襲していた。ところどころにライブドアのにおいを感じさせるところがあった。この企業はライブドア全盛の時代に大連の人材を教育するのではなく、日本から逆の発想で日本人を大連に出向させて中国という地にあった給与で労働をしてもらおうという仕組みを作った企業でもある。そこで働いていた方たちは中国各地で現在も活躍しているという。



MTGルームからの風景

ちょうどその日に内モンゴルから日本語DTPの視察に来ていた大学教授と合流し懇談したことも有意義であった。モンゴルも日本語DTPの受注システムを研究しているという。まさに中国大陸を日本語組版の協力会社として埋め尽くすような気さえする。ただ問題は価格と時間対応、確実性の問題が残る。

3日目午前中は、日本との関係の深い日露戦争のあった旅順の見学、そして有名な203高地を見てまわった。105年前に日本が勝利した戦いである。



乃木将軍とステッセル将軍が会談をしたとされるテーブル

↑左側が日本人用の椅子 (当時背が低かったため高めに設定されている。右側がロシア側)

午後は建設中の大連ソフトウェアパークの第2期開発区を視察した。今回訪れたのは管理棟の入っている建物内である。ここの一画全てをシンガポールのビジネス・スペースの開発・管理運営会社であるDalian Ascendas (大連アセンダス) が占めている。やはり、日本企業も

多数進出を決めているという。アジアを中心に世界10ヶ国、1,000社以上の企業が利用している。インド、オマーン、タイ、ベトナム、インドネシア、シンガポール、フィリピン、中国、韓国、日本がメインとなっている。グローバル企業として現在も躍進中である。

建物を案内してもらった方は日系企業を担当するマーケティング部の役員でした。日本語を埼玉大学で学び、群馬のサンデンで研修を積んだ方で流暢な日本語で案内してくれた。埼玉大学と聞いて、偶然ながらも世界の狭さを感じた時でもあった。

3日間の視察を通し、ガイドをしていただいたスイングバイ2020の中国代表の本山さん、及び姜さんには心から御礼を申し上げたい。また、その窓口として対応した丸山さんにも併せて御礼を申し上げたい。

今回のツアーで感じたことは日本国内に目を配るだけでなく、中国なり海外の印刷を含めたメディアの動向にも常に触れて情報を掴む努力が必要であるということ。日本の印刷業者間の激しい終わりの無い戦いをみると、中国との連携も一つの選択肢のような気すらする。日本が世界で負けないためにも、政治経済で紛争をしている時ではないと感じたのは私だけではないと思う。無資源国として成熟しきった感のある日本は世界を見る目を大いに養うべきである。

危機感を感じ、アジアのリーダーたる目をもって行動していかないと中国を含むアジアの国々に置いていかれることも十分あり得る。今回接した大連の方たちは大きな夢を持ち続け、ひたむきに生きている。一人一人のパワーが集まると今後も相当の成長が期待される。まだまだこれからの街であると思うが、アジアを代表する場所であることは間違いない。



中国を代表する石油会社



日本には無いようなカタチをした特徴的な建物が目立つ



中国を代表するソフトウェア開発企業である「Neusoft」大学も併設している



FUJIFILM

FFGS drupa 2008 Seminar

開催日時 ■ 2008年7月15日(火)

14:00~16:45(13:30受付開始)

場所 ■ 埼玉会館 3C けやき

● 洋紙のご需要は地元埼玉の洋紙店を ●

☎ 356-0011
ふじみ野市福岡五六一
☎ 〇四八1253
〇四九八五
(株) 吉岡
代表取締役
吉岡 薫

☎ 114-0023
東京都北区滝野川七四八十八
☎ 〇三一3916
〇二二六一
河内屋紙(株)深谷支店
代表取締役
郡司 勝美

☎ 355-0328
比企郡小川町大塚一〇八
☎ 〇四九三72
〇〇三〇
(株) 大塚紙店
代表取締役社長
大塚 良助

☎ 330-0004
さいたま市見沼区卸町一三三
☎ 〇四八1685
〇〇七一
溝口洋紙(株)
代表取締役社長
溝口 泰男

☎ 361-0076
行田市天満一五〇
☎ 〇四八1566
〇四四〇一
埼玉紙業(株)
代表取締役社長
肥留川 徹

☎ 333-0856
川口市柳崎三十九七
☎ 〇四八1566
〇三三三二(代)
石井紙販(株)
代表取締役
石井 幸一

☎ 350-0856
川越市問屋町四一
☎ 〇四九1224
〇五二二一
アサナ力紙商事(株)
代表取締役社長
浅海 廣

☎ 367-0047
本庄市前原二二三二五
☎ 〇四九五24
〇二七七一
武正(株)
代表取締役社長
武正 進介

埼玉会会員

人 事 往 来

- 2月21日 (浦和ワシントンホテル)
関東五県厚生年金基金予算代議員会 二重作・新井・佐藤各副理事長、櫻井専務理事、中村顧問、鈴木氏出席
- 2月23日～24日 (大阪 阿倍野区民センター)
全青協・第21回全国協議会 恵・馬場両協議員代行出席
- 2月27日 (組合事務所)
三役会議 新理事長、二重作・吉田・新井・佐藤・岩淵各副理事長、櫻井専務理事、事務局佐々木出席
- 2月28日 (大宮サンパレス)
埼玉県中小企業団体中央会情報連絡員新春懇話会 事務局佐々木出席
- 3月5日 (東京ディックビル)
関東甲信越静地区協議会 新理事長、二重作・吉田・新井・佐藤・岩淵各副理事長、櫻井専務理事、事務局深井出席
- 3月14日 (熊谷ティアラ21ハートピア)
第4回役員会・広報委員会
- 3月26日
県庁訪問 新井・岩淵各副理事長、櫻井専務理事出席
- 4月4日 (組合事務所)
営業士会監査 小幡・大塚両監事、事務局佐々木出席
- 4月7日 (本塚会計事務所)
会計士帳簿検査 事務局佐々木出席
- 4月15日 (組合事務所)
会計監査 古瀬・椎橋両監事、新理事長、櫻井専務理事、事務局佐々木出席
- 4月22日 (東京 アジュール竹芝)
全印工連第1回理事会・関東甲信越静地区協議会理事長会・全日本印刷産業政治連盟総会 新井副理事長出席

- 4月23日 (組合事務所)
予算会議 新理事長、二重作・新井・佐藤・岩淵各副理事長、櫻井専務理事、事務局出席
- 5月1日 (熊谷ティアラ21ハートピア)
第1回理事会
- 5月17日 (熊谷 ささや)
熊谷支部総会
- 5月23日 (大宮 道山閣)
埼印工組通常総会・講演会
- 5月27日 (東京 アジュール竹芝)
全印工連通常総会 新井理事長出席
- 5月28日 (パレスホテル大宮)
埼玉県中小企業団体中央会通常総会 洪木副理事長出席
- 6月5日 (マロウドイン熊谷)
青年部通常総会 新井理事長出席
- 6月6日～7日 (群馬 ホテル磯部ガーデン)
新井理事長 佐藤・櫻井・大谷・洪木各副理事長 事務局深井出席
- 6月10日 (熊谷商工会議所)
中央会北部支部幹事会 新井理事長出席
- 6月14日 (マロウドイン熊谷)
営業士会総会・講演会

訃 報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

- 3月6日 竹内写真製版(株) (青年部会員) ご母堂 竹内 久子様
- 3月28日 たつみ印刷(株) (深谷支部・顧問) ご母堂 新 綾子様
- 5月27日 東洋印刷(株) (深谷支部) ご尊父 河田 六郎様

編 集 後 記

5月23日(金)、当組合の平成20年度通常総会がさいたま市大宮区で開催された。旧大宮で開催されたのは何年振りだろう。久々である。ところで今総会での案件で、人事(役員選出)がちょっと目を引いたのではないだろうか。理事長は副理事長からの昇格だが、専務理事から副理事長兼務になったSさん含め、6名中3名半分が、青年部の主要メンバーである。A理事長さんも昭和19年12月生まれというから、前期三役と平均年齢は5歳は若くなったのではないかと。Aさんも前理事長も秘かに、今期三役の、若さを売りものの力の発揮しどころを期待しているのではないだろうか。期待が稔れば「してやったり」である。ただ、組合員の減少も、財政の厳しさも、年ごと締めつけられて尋常でない。また組合員に動いてもらうのもこれ又容易でない。三役同年輩から少し若い年齢層まで、二世、三世の心にくいこむようなメッセージを發してこれからの力を引き出せないか。埼印工組東西南北での地区懇談会などスケジュールが組めないだろうか。編集子が物申すのは大変おこがましことだが、今回の三役陣容を見て、そんなことを夢想してしまった。アウトサイダーの中にも仕事を通して既知の人もいる。そんな新人さんにも声かけ、組合加入してもらえるとありがたいのだが…。(S. O)